

自然を愛し、山を愛し、人を愛し、変わらぬ友情を育む

TTC通信

2012年(H24年)

6月号/Nb.183

編集: Y. Mimura

丹沢トレッキングクラブ 代表: 佐藤 清 TEL:046-248-1683 URL:http://outdoor.geocities.jp/ttc_atugi/

新規メンバーの募集について

TTCをより活性化するため、従来のHPでの新規メンバー募集に加え、厚木市広報やワイルドワン厚木店に新会員募集のチラシを置く等の積極的な施策を計画中です。皆様のお近くに山好き仲間がいましたら、積極的に声をかけてみてください。

TTCメンバーがハモカで日本一に

6/3 東京お茶の水で開催された世界ハモカ協会日本支部主催「第32回F. I. H Japanハモカコンテスト決勝大会」において、厚木市玉川公民館をフランチャイズにして活動中の女性8名編成ハモカバンド「八連符」(「たんぼぼ」から改称)が、アンサンブル部門で見事優勝。悲願のアメチュア日本一の栄冠を手にした。このバンドにはTTC創立時メンバーの(氏名削除)さんが7年前から所属(複音ハモカを担当)している。八連符は、「コントロールは飛んでいく」をダブ付けに演奏して、全国大会4回目の出場で優勝を射止めた。本コンクールは6部門に分かれてアメチュア日本一を競うものです。今回の受賞はハモカ愛好者の多いTTCにとっても誠に誇らしく、他メンバーにも大きな励みになるものです。おめでとうございます!

ご結婚おめでとう!

この度TTCメンバーのAさんとBさんがめでたくご結婚され、相模大野に新居を構えられたとの届け出がありました(氏名削除)。

なお、BさんはAさんの姓を名乗られます。新居の連絡先等は会員名簿最新版を別途送付いたしますので、そちらをご覧ください。お二人の永久の幸せをお祈り申し上げます。

山行実施結果報告

★奥秩父甲武信岳(提案)★★6/2-6/3、

1泊2日、マイクロバス利用。参加15名、天候:晴/曇。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。2000m超の樹林帯に残雪、軽代車が役立つ。戸渡尾根~徳ヶ谷新道の標高1900-1400m付近でズマシクナゲが多く見頃。下山後ほつたらかし温泉立寄り。

★塩原高原山(提案)★☆☆6/9-6/10、1泊2日。マイクロバス利用、参加8名。天候:晴/曇、後雨。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。登山を2日目に変更。鶏頂山登山のみで釈迦岳は控愛。温泉と食事が良かった。

至近の山行予定

◆富士宝永山(定例)★6/25(土)日帰、マイクロバス利用。申込15名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。昨年中止山行の催行。

◇デコ平湿原・雄国沼(提案)★6/30-7/1;1泊2日、た〜り山行、マイクロバス利用、申込8名(含ゲスト2名)。CL:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◆霧ヶ峰(定例)★7/15(日)日帰、マイクロバス利用、申込8名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。ニッコウシクナゲを愛でに!

◇北7薬師岳(提案)★★7/20-7/22;2泊3日、マイクロバス2台。申込9名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇奥秩父東沢釜/沢から甲武信岳(提案)★★★(沢中級)7/21-7/22;1泊2日、マイクロバス利用、申込3名。CL/計画:、SL/救護:、会計:スタッフ名削除。7/14・15に沢&岩トレーニング実施予定。

◇北7船窪岳・烏帽子岳(提案)★★★7/27(金)-7/29(日)2泊3日、マイクロバス利用。申込4名。CL、SL/計画:、会計:、救護:スタッフ名削除。2日目ハード&ロングコース。

◇北7穂高岳縦走(提案)★★★☆☆7/28(土)-7/30(月);2泊3日、マイクロバス利用。申込8名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。高度感ある岩稜縦走。



アズマシクナゲ(2012.6.3 奥秩父甲武信岳戸渡尾根(標高1700m地点))



ツクシシクナゲ(2004.5.29 大台ヶ原山シクナゲ平(標高1400m地点))

山の花・野の花

アズマシクナゲ【東石楠花】 (ツツジ科ツツジ属シクナゲ亜属の常緑低木)

日本に自生するシクナゲは高山に咲くキバナシクナゲとハクサンシクナゲの他、亜高山帯の林や稜線に咲く以下の4種がある;①アズマシクナゲ(山形以南~関東、中部南部)、②ツクシシクナゲ(紀伊半島以西、四国・九州の山地)、③キョウマルシクナゲ(南7南部)、④ホリバシクナゲ(静岡県・愛知県の山地)。伊豆天城山や長九郎山に咲くアマギシクナゲは①の変種。ヤクシシクナゲは④の変種。花は深紅色~淡紅色で、蕾のうちは色が濃いが開花するにつれて色が薄くなる。花期は5-6月、枝先に総状花序を伸ばし、5-12個の5裂鐘形の花をつける。雄蕊は10本。葉は革質常緑の長楕円形で、枝に互生する。観賞用として多くの園芸種がある。

◇加賀白山(提案)★★8/4-8/7; 往復夜行バス利用 1泊2日。申込15名。CL、SL、会計/計画:、救護:スタッフ名削除。

◇富士山(提案)★★9/1-9/2; 1泊2日、マイカ利用、申込8名。CL/計画:、SL:、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇南7南部縦走(提案)★★★☆☆8/12-8/17、公共交通(A)千枚岳-光岳(4泊+予備1日); 申込4名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。(B)千枚岳-聖岳(3泊+予備1日); 申込3名。CL、SL/会計:、救護:スタッフ名削除。

◇劔岳北方尾根・早月尾根(提案)★★★★9/1-9/5; 4泊5日、公共交通、申込2名。CL、SLスタッフ名削除。

◇北7前穂高奥又白池(提案)★★★9/22-9/23; 1泊2日テント泊。マイカ利用。申込6名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。酒沢周遊は割愛。9/15 広沢寺岩場で懸垂下降トレーニング。

◇北7燕岳・餓鬼岳(提案)★★★9/28-9/30; 2泊3日。マイカ利用。申込12名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

7月例会募集山行

◆蓼科山(定例)★★8/25(土)日帰、マイカバス利用。

◆西丹沢畦ヶ丸(定例)★☆☆9/8(土)日帰、マイカバス利用。

◇北7笠ヶ岳(提案)★★★10/6-10/8; 2泊3日。マイカ利用。

◇袈裟丸山(提案)★★10/21(日)日帰、マイカ利用。日帰に変更。

安全登山豆知識

H22年の山岳遭難概況

1年前のデータであるが、警察庁が2011.6.10に発表した2011年の山岳遭難状況をレビューする。山岳遭難件数1942件/遭難者数2,396人で、どちらも対前年度比+15%と急増(10年前と比較すると約60%増)。死亡者数は294人で前年より23人減。遭難者の年齢層は40歳以上が76%、55歳以上が60%を占め、相変わらず中高年登山者の遭難が多い。複数人パーティの遭難死亡率は7.7%であるのに対し、単独登山のそれは

約3倍の22%で、単独登山は遭難死のリスクが高い。5大遭難原因は①道迷い38.3%、②滑落18.3%、③転倒14.5%、④病気7.0%、⑤疲労6.5%(落雷遭難0%)。道迷いがダントツ多いが、大部分が道迷い遭難である山菜・茸採りの遭難者数が25.7%を占めることに留意すれば、登山者の道迷い遭難がダントツに多いわけではない。県別発生では、①長野213件、②北海道123、③東京122、④富山113、⑤新潟87(神奈川62)で、東京が3位とは興味深い。救助要請の62.3%が携帯電話で、必須の安全装備。遭難しないためには綿密かつ余裕ある計画と的確な状況判断が最重要だ。特に中高年は普段からの健康管理も大切。

山に想う

私にとっての山の楽しみ

#056 氏名削除

先月のゴールデンウィーク、北アルプスでの訃報をニュースで耳にしました。10人ほどの犠牲者が出たとのことで、「楽しいはずの山行が」と思うとやりきれない気持ちになりました。冬山は危険というけれど、雪の残る春山だって危険がいっぱいだとつくづく思いました。

いえいえ、夏山だって・・・数年前のトムラウシの事故の時は本当にショックでした。トムラウシ・十勝岳とTTCのメンバー4人で出かけ、無事に帰ってきた二日後のことでした。事故を伝えるテレビの映像や音声に、登れた充実感でひたっていた気持ちがいつぱんに吹き飛びました。<北沼>が映し出されると、「あそこで・・・」と行ったことのある場所だけに事故をリアルに感じました。それまでは、会う人にトムラウシに行ってきたのよと言っていたのが、しばらくは口に出せませんでした。私たち自身もトムラウシの山行では、避難小屋にすんなりと行きつけなかったこともあり、人ごととは思えませんでした。山はどんなときも危険と隣り合わせですね。

そんな危険を冒して「なぜ、行くの?」と問われても、ひと

ことで答える言葉はありません。それに、私が語るよりも、TTCのベテランメンバーの方が山の魅力を十分伝えられるでしょう。気持ちの良い風や可憐な花との出会い、頂上に到達したときの爽快感と眺望へのあこがれ、それに降りてきたときに登った山を眺めての満足感、これも何とも言えないですね。山の魅力は人それぞれで語りつくせないかもしれませんね。

私に関して言えることは、山はそのときそのときの体験で、違ったものがあるように思われます。たとえば、昨年の後立山では、地球との一体感を感じました。岩にへばりつくようにして登っていて、前の人がかかっていたので止まり、後ろを見るようにして遠くの山を眺めました。曇り空でしたが、遠くに連なる山々が見えました。見えるのは空と雲と山だけでした。登っているときに「ああ、なんて心地よい」と岩に頬をつけていました。あとからその時のことを思い出すと、自分が山の一部として存在しているような感じでした。よく、「生きているのではない、生かされているのだ」ということばを聞きますが、その感覚でした。

「山は晴れていなければ」というのは、そうかもしれませんが、私にはそうとばかりは言えないのです。ずいぶん前ですが、北海道の雨竜沼湿原を歩いた時でした。ひたすら霧の中を、足元の花しか見えない中を歩きました。そのときは分からないのですが、無になって歩いており、その感覚が何とも言えないのでした。もしかしたら座禅と似た感じなのだと思います。山は晴れがいいけれど、そうでない時もまんざらではないと後で思うのです。今年の山行では、どんなことを感じるのでしょうか。自分でも楽しみです。

今回は氏名削除さんの登場です。

7月例会: 7/14(土) 厚木市睦合南公民館 1F/展示室; 安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00。世話人会: 18:00-18:30。